

HIROSE-HOSP. HIROSE-HOSP.

ひろせほすぶ 2011

第8回 研宣会 職員全体研修会

高松テルサにて

今回で8回目となる職員全体研修会を6月9日(木)に行いました。

患者様にはご迷惑をおかけしましたが、当院の創立記念日を利用して、職員一人一人のレベルアップを図り、常に安全で安心な医療を提供できるよう毎年研修会を実施しております。

看護師 ■ 福家美智子

事務 ■ 松尾 由美

★ 今年は1人1人手作りのネームをつけて参加し、コンテストも行いました。



研修内容

- 講 義 『院内感染』 — 院内感染とその対策 —
- ワークショップ 『医療安全』 グループワーク：事例検討及び発表
- 研究発表 「ロコ入院の取り組み」
- アンケート結果 『当院に対する患者様アンケート』 病棟・外来
- BLS講習及び実技実習

新人

接遇

研修

— 患者さまに選ばれる職員になるために… を目標とする接遇研修を受けて —

株式会社ネグジットの政木和夫部長から接遇の基本である挨拶や、敬語（尊敬語と謙譲語と丁寧語）の違いについて、場面に応じた心構えと、実際の答え方を教わりました。

マニュアルに沿っての電話対応は、すぐに役に立ちました。きちんとした言葉使いをすると、自分の対応にも自信が持てますし、なにより気持ちが良いと感じました。

電話をいただいた方にも、当院を利用されることを満足していただきたいと思います。

正しい言葉づかいは、相手に対しての心配りであると思いました。

看護師 ■ 吉田 敦子



ALS (Advanced Life Support) 院内研修会



3月27日、院内のスタッフ同士でALS (Advanced Life Support) の研修会を開きました。

当院では2007年から年に1回は救命処置の練習を行っています。

例年は外部講師の先生をお迎えして研修を開いていましたが、4回目の今回はスタッフの一人が改訂したばかりのガイドラインをしっかりと勉強して、講師を務めてくれました。

新人がたくさん入った今年は、初めてのスタッフも多く、人形を使って胸骨圧迫法（心臓マッサージ）の練習も熱心に行っていました。

看護師 ■ 河野 正江



学 会 報 告

第46回 日本理学療法学会に参加して

平成23年5月27日～29日までの3日間宮崎県で開催された第46回日本理学療法学会に参加し、非常に貴重な経験を積むことができました。初めての全国規模の学会大会への参加ということで一つでも多くの事を学んで帰ろうと思い、今回はただ出席し話を聞くだけでなく、質問・意見を発表して実際に参加することを目標とし宮崎へと出発しました。

台風2号の影響で天候はあいにく大荒れでしたが、学会大会は非常に熱いものになり、私自身も非常に刺激を受けることができ清々しい気持ちで香川に帰ってくることができました。

今回で得た知識や技術を今後、実際の現場に生かせるようより一層努力したいと思います。

理学療法士 ■ 鳥居 寛司

サービス委員会より

サービス委員会では、意見箱に入っている色々な御意見に対しての改善策を話し合っています。

患者さんが気持ちよく治療を受けられるように努力しておりますので、多く御意見をお待ちしています。

今年になって待合室の椅子の全面リニューアルを行いました。「立ち上がりやすくなった。」などと良い評価をいただきました。

他方で一部ですが、次のような意見もありました。

サービス委員会 ■ 三好 房子

●外来患者さんより

待合室の花(カサブランカ)のにおいがきつい

→ 花屋さんと相談し、匂いのきつい花は生けないよう配慮してもらいます。待合室で患者さんが少しでも和むような花をと考えています。

●外来患者さんより

足が痛くて病院に通っているのに駐車場が少ない。遠いところへ停めることが多く、駐車できないこともある。

→ 駐車場に関しては、以前より皆様にご迷惑をおかけしていました。職員駐車場を増設して患者さん用のスペースを広げるように改善しています。今後も駐車場の利用不備がありましたら遠慮なく申し出てください。

看護職員

合同就職説明会

5月28日に高松市サンポートのかがわ国際会議場で看護職員に限定した合同就職説明会に参加しました。

医療の高度化や在宅医療の推進により、看護職の需要は高まっています。特に安心・安全な医療体制を確保するため、急性期医療においては看護配置基準を手厚くする診療報酬の改定が行われるなど、ますます看護職の需要が高まっています。

看護系大学などの養成機関も増加し、徐々に看護職は増加していますが、一方で新卒看護職の離職や地域や医療機関規模による看護職の偏在などの課題があります。

この説明会は香川県内での看護師の就業を促進し、看護学生や未就業看護職に看護の現場の魅力などを売りこむことが目的で、今年は香川県内の国公立及び民間の病院(合計36病院)、香川県ナースセンターが参加しました。当院も今回で4回目。例年より多くの学生が訪れ、採用条件や業務内容を説明しました。

看護師 ■ 立石 香



消防訓練



5月17日に当院にて消防訓練を行いました。

当院では毎年、防災マニュアルに従って、消防訓練を行っております。3月には東北において震災もありましたので、今回は特に身を引き締めて訓練に参加することができたのではないかと思います。日頃から災害が起こった際にスムーズな対処を行えるように準備しておきたいと思っております。

理学療法士 ■ 松原 敬司



2010年秋に当院
リハビリテーション

部にて三木中学校と高松北中学校の生徒さんが3日間ずつの職場体験学習に来ました。

患者さんに対するリハビリテーションの見学はもちろん、回復期リハビリ病棟で行っている集団体操、カンファレンスへの参加、併施設アズーリでの体験も行っていただきました。

今後彼らが理学療法士、作業療法士に興味を持ち、目指すきっかけになればと思います。

理学療法士 ■ 鳥居 寛司

職場体験学習



退職

菅田先生、 8年間ありがとうございました

2月27日 東京マラソンがありました。翌日の広瀬病院では、菅田先生が完走されたという話題でもちきりでした。更に5月には軽井沢ハーフマラソンにも参加し、完走されました。写真は軽井沢ハーフマラソンでの菅田先生です。

菅田先生は平成15年10月より当院で診察していただくようになり、患者さんにはもちろん、スタッフにも紳士的に接していただき、みんな大好きな先生でした。しかし大変残念ですが、今年6月いっばいで退職されました。

8年間、ありがとうございました。

広瀬病院は…カマタマーレ讃岐を応援しています 頑張れ、カマタマーレ!!



現在、JFL(日本フットボールリーグ)に所属しているカマタマーレ讃岐は、J-リーグ昇格を目標に毎週リーグ戦を戦っています。8月7日現在、7勝7敗2引き分けの勝ち点23で11位につけています。リーグ終了時点で4位以内の成績であればJ-リーグ昇格の資格が得られますが、ホームゲームの観客動員数も条件の一つで、平均3000人の入場者数が必要です。「なでしこジャパン」のワールドカップ優勝に象徴されるように、スポーツニュースは日本や地元を元気にさせる明るい話題を提供してくれます。是非讃岐の地にJ-クラブを誕生させたいという思いで、院長や理学療法士の大家はチーム発足当初から選手やクラブのサポートを行ってきました。現在は神澤医師もチームドクターの一員として、ケガの治療や試合帯同などを行っています。J-クラブが存在することで中高生やサッカー少年(少女も!)に身近で具体的な目標ができると思います。是非皆さんで、カマタマーレを応援して下さい。

サッカーに限らず、ケガの治療や予防、早期復帰のためのトレーニングやケアの指導など、「アズーリ」(広瀬病院付属のフィットネスクラブ)も含めて広瀬病院はスポーツ選手を応援しています。



東日本大震災 の募金

東日本大震災後、3月中に当院で募金活動を行いました。皆様のご好意で15万680円を4月4日に日本赤十字社へ義援金として寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。

医療法人社団研宣会

専門性を生かした

患者様中心の医療と看護

 広瀬病院

〒760-0079 高松市松縄町35-3 TEL: 087-867-9911(代) FAX: 087-867-9988

ホームページ <http://www.hirose-hosp.or.jp>

E mail info@hirose-hosp.or.jp

発行者: 医療法人社団研宣会理事長 広瀬友彦

編集: 広瀬病院広報委員会

発行日: 平成23年8月